

ウ 介護予防事業について

保健・医療・福祉等との連携により特定高齢者を早期に把握し、その心身の状況等に応じて、個々の高齢者に対する個別健康教育を実施します。

①特定高齢者把握事業

地 域	項 目	H 1 8 年度	H 1 9 年度	H 2 0 年度
能代地域	高齢者人口	15,076	15,243	14,986
	受診対象者（要介護者等を除く）	12,389	12,819	12,506
	生活機能評価受診者	1,427	1,498	841
	受診率	11.5%	11.7%	6.7%
	特定高齢者	113	184	168
	対高齢者人口割合	0.7%	1.2%	1.1%
二ツ井地域	高齢者人口	4,280	4,272	4,178
	受診対象者（要介護者等を除く）	3,710	3,642	3,528
	生活機能評価受診者	527	709	475
	受診率	14.2%	19.5%	13.5%
	特定高齢者	4	8	27
	対高齢者人口割合	0.1%	0.2%	0.6%
合 計	高齢者人口	19,356	19,515	19,164
	受診対象者（要介護者等を除く）	16,397	16,458	16,034
	生活機能評価受診者	1,954	2,207	1,316
	受診率	11.9%	13.4%	8.2%
	特定高齢者	117	192	195
	対高齢者人口割合	0.6%	1.0%	1.0%
	特定高齢者（前年度からの継続者を含む年度末時点数。）	109	283	438
対高齢者人口割合	0.6%	1.5%	2.3%	

※H 1 8、H 1 9年度は、年度末の数値。H 2 0年度は、9月末現在の数値。

【第3期介護保険事業計画での見込み】

区 分	項 目	H 1 8 年度	H 1 9 年度	H 2 0 年度
能代市計	高齢者人口	18,635	18,795	18,955
	特定高齢者	559	751	947
	対高齢者人口割合	3%	4%	5%

※高齢者人口は、各年度10月1日現在の見込み。

【現状】

制度導入の平成18年度は特定高齢者把握のための判断基準が厳しく、高齢者人口の0.6%にとどまっていたが、平成19年度以降基準が緩和され、その基準に当てはめた場合の特定高齢者数は、平成20年9月末現在で438人とみなされています。第3期介護保険事業計画で見込んでいた数の約半数となっていますが、全国でも高齢者人口の2.5%となっており同じような傾向となっています。

【課題と対応】

生活機能評価の受診率が10%前半と低く生活機能評価の受診率を上げるため、受診勧奨をしていく必要がありますが、受診機関も山本組合総合病院・能代市保健センター・秋田県総合保健事業団に限られています。

また、日常、かかりつけ医を持ち定期的に受診している方は生活機能評価の受診に結びつけにくい傾向にあります。

今後は、健康推進員、老人クラブなどの協力を得ながら、一般高齢者施策の充実により、元気高齢者の増加を目指すとともに、年齢を区切って個別に周知し、生活機能評価の受診を勧奨するなど、介護予防の啓発を行います。

②通所型介護予防事業（運動器・口腔機能の向上、栄養改善等）

区分	項目	H18年度	H19年度	H20年度
能代地域包括支援センター	開催回数	124回	133回	49回
	延べ参加人数	2,192人	1,880人	590人
	実参加人数	—	125人	59人
二ツ井地域包括支援センター	開催回数	15回	40回	9回
	延べ参加人数	103人	305人	81人
	実参加人数	—	12人	10人

平成18年度は、特定高齢者のほかに一般高齢者の人数を含む。

【現状】

特定高齢者となった方へ呼びかけをし、能代ふれあいプラザサンピノでのゆうあい健康教室や二ツ井総合体育館での筋力トレーニング教室など下肢の筋力低下予防をメインにしながら、口腔機能の向上、栄養指導など行っています。

平成19年度では特定高齢者283人中参加者137人で48.4%となっていますが、全国では12.0%であり、本市では高い参加率となっています。

また、参加者の中から要介護へ悪化した方は1名だけ（0.7%）で介護予防効果は期待できるものと思われています。

【課題と対応】

特定高齢者に対しての通所型介護予防事業を実施する部署が地域包括支援センターに限られており、他の施策との相互事業展開などにより、効率のよい介護予防事業が必要となってきています。

様々な機会を捉えて地域での一般高齢者施策の充実を図り、元気高齢者の増加に努めるとともに、介護予防教室修了者がその後も介護予防効果を継続できるよう、介護予防教室の指導内容の充実を図ります。